



第 131 回院内コンサート

日時 : 2026 年 9 月 19 日 (土) 14 時～

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪ ♫ 演奏者プロフィール

とくだ しんさく

オーボエ : 徳田 振作さん



洗足学園音楽大学にて虎谷 加悦氏に師事。在学中よりフリー奏者として演奏活動始める。1994 年に渡欧しプラハにて P.ヴェルネル氏に師事し研鑽を積む。室内楽ではピアノと木管五重奏 VEGA を結成し各地コンサートや 95 年に CD「剣の舞とだったん人の踊り」をリリース、96 年にはアメリカ:サンディエゴにてコンサートツアーを行う。2018 年長年勤めた東京ニューシティ管弦楽団を退団、現在フリー奏者として活動する傍ら、後進の指導を行っている。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。



もり りか

ピアノ : 森 りかさん

4 歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て洗足学園大学音楽学部卒業。リストのピアノ協奏曲をオーケストラと共演。蓼科高原音楽祭賞受賞。読売新人演奏会に出演。ファゴットマスタークラスでのピエール・マーテンス氏、ヘンリック・ラビーン氏、マルテ・レファルト氏など海外演奏家との共演をはじめ、アンサンブルピアニストとして活躍している。2003 年より続く口笛リサイタルをきっかけに、2008 年第 35 回国際口笛大会 in Japan(JWC2008)では、ヒールト・シャトロー氏、ミッチー・ハイダー氏など海外演奏家とも共演。2014 年国際口笛大会(IWC)及び 2016 年より口笛世界大会(WWC)審査員を務める。



プログラム

♪G.ドニゼッティ作曲 オーボエ ソナタ

オペラ作曲家らしい歌う様な前半と後半は軽快で華やかな曲。

♪B.ブリテン作曲 パン(独奏オーボエの為の 6 つの変容より)

ローマの詩人オウィディウスの神話を題材にした 6 曲からなる小品の 1 曲目。

♪P.イトウラルデ作曲 ギリシャ組曲

スペインのサクソ奏者のイトウラルデが作曲したジャズとオリエンタルな雰囲気融合した名曲。

1. カラマティアノス
ギリシャ伝統的な 7 拍子の踊りのリズム。
2. ファンキー
フュージョンテイストのゆったりとした曲。
3. ワルツ
3 拍子の哀愁を帯びたメロディ。
4. クリティス
クレタ島の踊りのイメージ、アップテンポで情熱的なフィナーレ。



♪B.アンドレ作曲 アルギュ No.4

ハープとオーボエ(他)の為に書かれた 7 曲からなる小品の第 4 番。

♪C.サン＝サーンス作曲 オーボエ ソナタ

晩年に 3 つの木管楽器のために書かれたソナタの最初の曲。

1. アンダンティーノ
牧歌的な旋律が印象的。
2. アダージョ〜アレグレット〜アダージョ
自由なカデンツァ風な導入から中間部は 18 世紀風の舞曲パストラル。
3. モルト・アレグロ
軽快なパッセージの連続で華やかに曲を締めくくります。



お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。
なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。
次回、第 132 回院内コンサートは 2026 年 10 月 17 日（土）14 時 00 分～